

「吉野山」
吉野山 櫻がこずゑひと列に
見つ、思へば、
年へだ、りぬ
（水の上）
釈 道空

平成29年4月10日(月) 定期号(毎月10日発行) 1部20円
[発行] 国学院大学 [編集] 総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 [電話] 03(5466)0130 [FAX] 03(5466)0528

祭 儀 ■ 神殿鎮座記念祭 5月1日(月) 午前11時 神殿

135年を礎に新たな挑戦



21世紀研究教育計画(第4次)による「新たな挑戦」がスタートした春。渋谷キャンパスに集う学生の表情は明るい。

21世紀研究教育計画 第4次を策定

学校法人国学院大学では、創立120周年の平成14年にスタートした「21世紀研究教育計画」の第4次計画を策定し、本年度から5年間にわたって推進していく。今次の計画では、法人の目標に「国学院ブランドの確立と強化」を掲げ、「新たな価値の創造に挑戦」(坂口吉一理事長)する。

本年11月、母体である皇典講究所の創立から135年の節目を迎える。伝統をふまえ「国学院」はどこまで成長できるのか—新たな挑戦となる計画が始動する。

本計画では、国学院大学ほか法人傘下の6教育機関が、5年後のありたい姿として「将来像」と「教育目標」をそれぞれ設定した。建学の精神ならびに、基本指針である3つの慮い(「伝統と創造の調和」「個性と共生の調和」「地域性と国際性の調和」)に立脚した戦略により、法人総体としてのブランド力強化を目指す。

本学は、将来像を「人文・社会科学系の『標』となる」、教育目標を「主体性を持ち、自立した『大人』の育成」と設定した。本学の固有の価値が社会に評価されるとともに、在学生・卒業生が誇りを持てる大学の実現など8つの戦略を設定し、取り組みを行う。計画の遂行について赤井益久学長は「努力し続ける姿、挑戦する姿勢そのものが標となるよう邁進する」としている。

【6、7面詳細】

みはるかすもの

サクラの満開の便りとともに今年も新入生を迎えた。新入生諸君には、定められた学修の期間を有意義に過ごされることを期待する▼3月、列島は新横綱・稀勢の里の優勝に沸いた。けがを押しのけた出場には、新横綱としての責任感、精神力の強さを感じざるを得ない▼3月場所は、「荒れる春場所」といわれる。元小結・舞の海秀平氏の「テレビでは言えない大相撲観戦の極意」(ポプラ新書)によれば、そのルーツは昭和28年にさかのぼる▼当時は現在と同じ4横綱時代。初日から横綱の休場や大不振、さらには千代の山の横綱返上騒ぎまで巻き起こった

ことが発端だという。平成に入ってから、ジंकスも崩れつつあるようだ。今年も結果的には上位陣の一騎打ちとなった。けがを抱えながら土俵に上がった稀勢の里と大関・照ノ富士の優勝争い。痛みを口にせず土俵に立ち続けた2人の姿には賛辞を送りたい▼テレビ中継が伝えた客席には違和感も覚える。力士を応援する会場一体となった手拍子は、対戦相手への威圧のようにも感じる。まずい取り口への悪口雑言もいたらない▼ひいきの力士がいようと他者への配慮に欠ける言動は「ひいきの引き倒し」だ。相撲は、国技であり、スポーツであり、興行であり、伝統文化であり、神事でもある。心身を鍛え、神聖な土俵に臨む力士に、等しく敬意を払ってこそ本場の相撲ファンではないだろうか。

本学の平成29年度入学式が大学院・法科大学院は4月1日に、学部・専攻科・別科は2日に厳かな雰囲気の中、挙行された。学部・専攻科・別科・大学院を合わせた本年度の入学者2488人が新たな学生生活の一步を踏み出した。赤井益久学長は学部入学式では中国古典の「志ある者、事竟に成る」などの言葉を、大学院では本居宣長の35年にわたる研究姿勢を紹介し、「志を立て、学び続けることの大切さ」を説いた。真新しいスーツなどに身を包んだ新入生からは「学生生活やサークル活動が楽しみ」や「緊張している」など期待と不安が入り交じった声がある一方、「調べた結果、(本学が)希望する大手企業の就職に有利だったのでどうしても入りたかった」など気合の入ったコメントもあった。

【2面詳細】

平成29年度入学式挙行





平成29年度 國學院大學 入学式

卒業奉告祭・入学奉告祭を斎行

3月17日に卒業奉告祭が、4月1日に入学奉告祭が、坂口吉一理事長、赤井益久学長、大学関係者らが参列して本学渋谷キャンパス神殿でそれぞれ斎行された。卒業奉告祭では、修了を迎える別科生らが伶人として奉仕し、厳かに雅楽を演奏した。

また、入学奉告祭では、新入生代表も参列し、玉串を神前にささげ拜礼した。



平成29年度入学者数(大学)

- ◎大学院◆博士課程前期◇文学研究科71人▷神道学・宗教学専攻11人▷文学専攻34人▷史学専攻26人◇法学研究科▷法律学専攻6人◇経済学研究科▷経済学専攻7人◆博士課程後期◇文学研究科20人▷神道学・宗教学専攻6人▷文学専攻10人▷史学専攻4人◇法学研究科▷法律学専攻0人◇経済学研究科▷経済学専攻0人(大学院合計104人)
◎学部◆文学部734人▷哲学科71人▷史学科201人▷日本文学科273人▷中国文学科66人▷外国語文化学科123人◆経済学部540人▷経済学科215人▷経済ネットワーク学科165人▷経営学科160人◆法学部▷法律学科526人▷法律専攻412人▷法律専門職専攻54人▷政治専攻60人◆神道文化学部▷神道文化学科195人◆人間開発学部344人▷初等教育学科104人▷健康体育学科134人▷子ども支援学科106人(学部合計2339人)
◎専攻科▷神道学専攻科神道学専攻40人(専攻科合計40人)
◎別科▷神道専修Ⅰ類2人▷神道専修Ⅱ類3人(別科合計5人) [総計2488人]

法人傘下諸学校入学生・入園児数

- 学校法人国学院大学傘下の諸学校、幼稚園の平成29年度入学生および入園児数は次のとおり。カッコ内は、入学・入園式等挙行月日。
◎国学院大学北海道短期大学部 [4月10日] = 268人▷本科▷国文学科92人▷総合教養学科110人▷幼児・児童教育学科60人▷専攻科▷福祉専攻6人
◎国学院高等学校 [4月7日] = 610人
◎国学院大学久我山高等学校 [4月7日] = 507人
◎国学院大学久我山中学校 [4月7日] = 319人
◎国学院大学附属幼稚園 [4月11日] = 50人
◎国学院幼稚園 [4月10日] = 47人

今号から紙面をリニューアル
今号から紙面をリニューアルしました。中面を特集面として、毎号国学院大学の多彩な顔を紹介していきます。新コラム「若木が丘だより」「博物館学芸員の資料ファイル」もスタート。情報欄「インフォダイジェスト」も充実させ、読者に役立つ情報をお届けします。次号からは、ダブルフロント・スタイルを取り入れ、最終面からは学生アドバイザー(学生記者)が中心に制作する学生面「K:DNA」を掲載します。

学部・専攻科・別科入学式 赤井学長「志ある者、事竟に成る」

本学学部・専攻科・別科の入学式は4月2日、東京都港区のグランドプリンスホテル新高輪の「飛天」で文学部・人間開発学部・神道文化学部・神道学専攻科・別科神道専修(午前)、法学部・経済学部(午後)の2部に分けて挙行された。坂口吉一理事長、赤井益久学長をはじめとする教職員、大勢の家族らとともに、長い受験勉強を終え、晴れ晴れとした表情の新入生が式に臨んだ。



赤井学長は告辞で、江戸時代の国学者・本居宣長を引き合いに志高く研究を続けることの意味を説き、「みなさんのこれからの研鑽を期待している」と結んだ。続いて金子修一大学院委員長が祝辞を述べ、新入生を代表し大番彩香さん(博後文)が「校歌の歌詞でもある」もどつ心を忘れないと誓い、式はつづがなく終了した。



「志ある者、事竟に成る」という言葉を引き合いに、志を持つことの重要性を説いた。そして「目標の達成は容易ではないでしょう。しかし、大学における勉学は、みなさんを旅の目的地にきつと運んでくれるに違いありません。みなさんの可能性の扉は全て開かれています」と激励した。

その後、本学学生の保護者らで組織する若木育成会の三竹俊彦会長は祝辞で「国学院大学は学生に親切な大学です。就職や日々の生活まで、きめ細かい適切なアドバイスを提供する」と紹介した。

赤井学長は告辞で、江戸時代の国学者・本居宣長を引き合いに志高く研究を続けることの意味を説き、「みなさんのこれからの研鑽を期待している」と結んだ。続いて金子修一大学院委員長が祝辞を述べ、新入生を代表し大番彩香さん(博後文)が「校歌の歌詞でもある」もどつ心を忘れないと誓い、式はつづがなく終了した。

平成29年度の本学入学試験では、一般入試の志願者が2万5千人を突破した。18歳人口の減少が続く中、4年度以来25年ぶりの実績となった。今年度は、一般入試全制度で、手書き志願票による出願を廃止し、全てweb(インターネット)出願に変更したのははじめ地方入試会場の新設など、入試改革を行ってきた。その結果、V方式Ⅱ期を除く全ての入試で、軒並み志願者を伸ばし、一般入試全体では前年比13.6%増となった。

29年度一般入試志願者 2万5千人突破
この結果について、針谷壮一入学試験委員長・文学部教授は「入試制度改革に積極的取り組み、試験日程の変更や外部英語検定試験利用の導入など、受験しやすい環境を整備したことがプラスになった。オープンキャンパスや出張講義で本学の魅力を地道にアピールしてきたことも大きい」と分析している。

今号から紙面をリニューアル
今号から紙面をリニューアルしました。中面を特集面として、毎号国学院大学の多彩な顔を紹介していきます。新コラム「若木が丘だより」「博物館学芸員の資料ファイル」もスタート。情報欄「インフォダイジェスト」も充実させ、読者に役立つ情報をお届けします。次号からは、ダブルフロント・スタイルを取り入れ、最終面からは学生アドバイザー(学生記者)が中心に制作する学生面「K:DNA」を掲載します。

派遣研究員の 派遣期間延長および変更

国学院大学における派遣研究員の派遣期間延長および変更が決まった。氏名・研究課題・派遣先・派遣期間は次のとおり。

◎**期間延長**◆国外派遣研究員◇法学部▶佐藤秀勝教授▷「契約上の地位の移転」制度の多角的研究▷チュービンゲン大学法学部▷平成29年10月1日～平成30年3月31日

◎**期間変更**◆国内派遣研究員◇文学部▶高屋景一准教授▷想像力に注目した教育理論および実践に関する研究▷国際基督教大学図書館、国立国会図書館、ニューヨーク市立図書館および市内学校 他▷平成29年4月1日～平成30年3月31日

大学院がインターンシップ協定

考古学を学ぶ大学院生に発掘現場を経験してもらうため、本学大学院文学研究科と埼玉県埋蔵文化財調査事業団がインターンシップ・プログラムに関する協定を締結した。プログラムは、埋蔵文化財調査に携わる自治体職員などを対象とする大学院生らを対象としている。3月8日に調印式が行われた。今年度からのインターン参加を予定している。

同事業団は埼玉県内の埋蔵文化財の調査研究などを行う公益財団法人。

吉川博士記念賞に二戸氏

本学は、二戸麻砂彦山梨県立大学教授・本学文学部兼任講師が国語学の有益な研究に著した功績を称え、吉川泰雄博士記念賞を授与した。同賞は本学学長であった吉川泰雄博士の学績を記念して設けられた。選考対象者は本学卒業生ら関係者。二戸氏は著書『節用文字の音注研究』（汲古書院、平成27年刊）で古辞書「節用文字」の音注を分析・解明して日本漢字音史に貢献したことが評価された。表彰式は3月15日に行われた。

2氏に学位記を授与

本学は二戸麻砂彦山梨県立大学教授・本学文学部兼任講師に博士（文学）、茅野信行本学経済学部教授（当時）に博士（経済学）の学位を授与することを決定した。3月15日、渋谷キャンパスで赤井益久学長から両氏に学位記が贈られた。

二戸氏の学位申請論文は「節用文字の音注研究」。主査は久野マリ子本学文学部教授。副査は諸星美智直同教授と清水史・愛媛大学教授。同論文は、古辞書「節用文字」の漢字音注に関する研究。

茅野氏の学位申請論文は「東西冷戦終結後の世界穀物市場」。主査は高橋克秀本学経済学部教授。副査は三石誠司宮城大学教授、農林水産省大臣官房国際部の成田喜一国際情報分析官、久保田裕子本学経済学部教授。同論文は、冷戦終結後に変化する世界の穀物市場を多面的な角度から分析している。

訃報 林陸朗名誉教授

国学院大学名誉教授の林陸朗氏が、2月17日に逝去。91歳。通夜は24日、告別式は25日に日本基督教団中野教会（中野区）で執り行われた。

林氏は、大正14年生まれ。昭和24年国学院大学学部史学科卒業。同年同文学部助手、40年同専任講師、41年同助教授、44年同教授。平成8年定年退職、同年名誉教授。在職中、法人理事や文学部長、大学院委員長、図書館長などを歴任。



答辞を述べる高橋亮一君(午後部)

午前は法学部、経済学部、人間開発学部の3学部、午後は文学部、神道文化学部と神道学専攻科、別科神道専修の式典が行われた。国歌斉唱に続き、赤井学長が各学部と専攻科別科修了の総代に卒業証書・学位記と修了証書を授与した。赤井学長は式辞で古事記を引用し「卒業を機にこれまでの歩みを振り返り、学んだ事柄をこれからの力として新たな未来を修理工固め成せ」と語った。

平成28年度の本学大学院と法科大学院学位記授与式は3月17日、渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで坂口吉一理事長、赤井益久学長をはじめ関係教職員らが出席して挙行された。

式典では大学院博士課程後期修了生8人の氏名が読み上げられ、赤井学長が博士学位記を授与。続いて法科大学院修了生7人の紹介と法務博士学位記の授与が行われた。また、本学内に東京弁護士会が開設した渋谷パブリック法律事務所指導の「リーガルクリニック上級」を修得した法

科大学院修了生2人に、日本臨床法学会の表彰状が授与された。その後、博士課程後期所定単位修得退学者14人の紹介と博士課程前期修了生80人に対する修士学位記授与が行われた。式辞で赤井学

長はドイツの社会学者、マックス・ウェーバーの講演や福沢諭吉の「学問のすゝめ」を引用し「学は人なり」と説き「絶えず人類の未来を見据えた学ぶ者の矜持を忘れてはいけない」とエールを送った。

平成28年度学部・専攻科・別科卒業式

赤井学長「未来を修理工固め成せ」

本学の平成28年度第125回卒業式は3月19日、グラウンドプリンスホテル新高輪「飛天」で坂口吉一理事長、赤井益久学長ら役教職員と卒業生、家族が出席して挙行された。学部・専攻科・別科の卒業生2528人は、赤井学長など多くの激励を受け大学を巣立った。

発学部長・教授(同)、野呂健文学部長・教授(同)、武田秀章神道文化学部長・教授が「卒業生に贈る言葉」で激励した。

その後、卒業生を代表し午前9時30分には木村嘉観君(法)、午後の式では高橋亮一君(史)が答辞を述べた。式典では若木育成会による成績優秀者の表彰も行われた。卒業生らは式典後、それぞれのキャンパスに移動。各教室で卒業証書・学位記、修了証書の授与を受け、学部ごとの卒業祝賀会に臨んだ。

森本天弥君(経)は「文化祭で漫画研究会の仲間と制作物の完成を喜び合ったことが一番の思い出。就職する広告業界でも、学生時代に育んだ発想や熱意を広告制作に生かしたい」と晴れ晴れとした表情で語っていた。

8人が博士後期修了 法科大学院修了7人

大学院・法科大学院学位記授与式



公式ホームページを リニューアル

本学は、公式ホームページ(URL <http://www.kokugakuin.ac.jp/>)を全面的にリニューアルし、4月1日から公開した。より「開かれた国学院大学」を目指す取り組みの象徴として、今回ホームページの大幅リニューアルに踏み切った。研究の蓄積による「知」を広く社会に還元するという、大学のあるべき姿を体現した本学の基幹メディアとして、学内の知的資産や魅力について、より積極的に発信していく。

今回のリニューアルでは、ホームページ閲覧者の閲覧履歴や登録内容に応じて、その人に最適と思われる情報を、トップページや各ページの最下部などにおすすり表示する「レコメンド機能」が加えられた。ニュースサイトなどで多く活用されている同機能の大学ホームページへの実装は、先駆的な試みといえる。



平成29年度 予算成立

平成29年度国学院大学予算は、3月28日開催の理事会・評議員会で承認、成立した。

◇資金収支予算

資金収支予算は会計年度中のすべての収入予算および支出予算の内容と支払資金の額

末を明らかにすることを目的としてゐる。

◇事業活動収支予算

事業活動収支予算は、①教

育活動②教育活動以外の経常的な活動③①②以外の活動に対応する事業活動収支及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した、当該会計年度の諸活動に対応するすべ

ての事業活動及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにすることを目的としている。つまり、「3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにする」「区分経理、「均衡の状態を明らかにする」「収支の均衡を主な目的としている。詳細は、本学ホームページに掲載している。(財務部経理課)

資金収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:百万円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	前年度予算	増減	科目	予算	前年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	13,586	14,034	△448	人件費支出	9,490	9,649	△159
手数料収入	618	619	△1	教育研究経費支出	4,054	3,831	223
寄付金収入	469	470	△1	管理経費支出	1,207	1,161	46
補助金収入	2,128	2,164	△36	借入金等利息支出	19	32	△13
資産売却収入	0	51	△51	借入金等返済支出	1,290	850	440
付随事業・収益事業収入	167	196	△29	施設関係支出	1,522	748	774
受取利息・配当金収入	156	195	△39	設備関係支出	380	361	19
雑収入	349	442	△93	資産運用支出	2,621	4,461	△1,840
借入金等収入	1,067	627	440	その他の支出	184	261	△77
前受金収入	2,929	2,991	△62	予備費	499	529	△30
その他の収入	1,946	1,472	474	資金支出調整勘定	△179	△203	24
資金収入調整勘定	△3,164	△3,436	272	当年度支出合計	21,087	21,681	△594
当年度収入合計	20,251	19,825	426	翌年度繰越支払資金	10,037	10,873	△836
前年度繰越支払資金	10,873	12,729	△1,856				
収入の部合計	31,124	32,554	△1,430	支出の部合計	31,124	32,554	△1,430

事業活動収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:百万円)

教育活動収支	科目	予算	前年度予算	増減	特別収支	科目				
						予算	前年度予算	増減		
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	13,586	14,034	△448	特別収支	その他の特別収入	337	337	0	
	手数料	618	619	△1		特別収入計	337	337	0	
	寄付金	167	170	△3		事業活動支出の部	資産処分差額	25	72	△47
	経常費等補助金	2,108	2,141	△33		特別支出計	25	72	△47	
	付随事業収入	167	196	△29		特別収支差額	312	265	47	
	雑収入	349	442	△93		[予備費]	499	529	△30	
	教育活動収入計	16,995	17,602	△607		基本金組入前当年度収支差額	452	1,045	△593	
事業活動支出の部	人件費	9,488	9,712	△224	基本金組入額合計	△3,418	△3,605	187		
	教育研究経費	5,656	5,438	218	当年度収支差額	△2,966	△2,560	△407		
	管理経費	1,349	1,306	43	前年度繰越収支差額	△1,560	1,000			
	教育活動支出計	16,493	16,456	37	基本金取崩額	3	0			
教育活動収支差額	502	1,146	△644	翌年度繰越収支差額	△4,523	△1,559				
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	156	195	△39	(参考)	事業活動収入計	17,488	18,135	△647	
	教育活動外収入計	156	195	△39		事業活動支出計	17,037	17,090	△53	
教育活動外支出の部	借入金等利息	19	32	△13						
	教育活動外支出計	19	32	△13						
教育活動外収支差額	137	163	△26							
経常収支差額	639	1,309	△670							

法人の主な役教職員人事

法人の主な役教職員人事は次のとおり。

退職(任期満了)

- ◎内部監査室長(嘱託)▽喜多山健二◎内部監査室(嘱託)▽須藤謙雄

退職

- ◎国学院大学北海道短期大学部事務局長▽平野富康(以上平成29年3月31日付)

昇格等

- ◎内部監査室長兼務▽橋本憲

大学の主な役教職員人事

大学の役教職員人事が、平成29年4月1日付で発令された。役職者における異動・新任者などで主なものは次の通り。

役職者

- ◎文学部▽学部長▽石川則夫▽副学部長▽出世直衛(以上任期2年)
- ◎経済学部▽学部長▽橋元秀一▽副学部長▽根岸毅宏(同)
- ◎法学部▽学部長▽門広乃里子▽副学部長▽一木孝之(同)
- ◎神道文化学部▽学部長▽武田章章▽副学部長▽茂木栄(同)
- ◎人間開発学部▽学部長▽田沼茂紀▽副学部長▽山田佳弘(同)
- ◎専攻科長▽岡田莊司(同)
- ◎別科長▽茂木貞純(同)
- ◎大学院▽大学院委員長・文学研究科委員長▽金子修一▽文学研究科幹事▽石本道明▽経済学研究科委員長▽紺井博則▽同幹事▽金子良太▽法学研究科委員長▽宮内靖彦▽同幹事▽坂本一登(同)
- ◎法科大学院▽法科大学院長

智朗▽松本久史

◎人間開発学部◆教授▽藤田大誠◆准教授▽神事務▽吉永安里

◎研究開発推進機構◆教授▽平藤喜久子

◎教育開発推進機構◆教授▽中山郁

◎総務部人事課長兼務を解く▽長谷川顕子総務部人事課長兼務

部比呂美◆助教▽手塚雄太

◆助手▽朝倉一貴

◎経済学部◆教授(特別専任)▽高橋尚子◆准教授▽細谷圭◆助教(特別専任)

◎法学部◆教授(特別専任)▽永森誠一◆専任講師▽川村尚子

◎神道文化学部◆専任講師▽星野光樹

◎人間開発学部◆教授▽田村学◆助教▽伊藤英之▽廣井雄一◆助手▽鈴木玉香

◎研究開発推進機構◆助教▽上西亘▽齋藤公太▽渡邊卓

◆助教(特別専任)▽吉永博彰

◎教育開発推進機構◆教授(特別専任)▽久保田正人

▽溝越彰◆准教授▽鈴木崇義◆助教▽戸村理

◎客員教授▽浅野温子▽嵐山光三郎▽岩下尚史▽北澤豪

▽さだまさし▽佐藤美穂▽東儀秀樹▽徳川恒孝▽平林岳▽松平定知(以上平成30年3月31日まで)

◎総務部人事課長兼務を解く▽長谷川顕子総務部人事課長兼務

新任専任教職員紹介

今年度 4 月、本学に着任した専任の教職員 19 人のプロフィールを紹介する。丸数字は①略歴②抱負。

文 学 部

◆教授
新倉真矢子 (にいくらまやこ)

①上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士後期課程満期退学。上智大学外国語学部ドイツ語学科教授を経て現職。②専門はドイツ語音声学・音韻論、ドイツ語教育です。日常ドイツ語会話の音声に関わる現象とその背後にある規則性について研究しています。ドイツ語の 4 技能の育成と言語知識の習得に貢献していく所存です。

◆准教授 (特別専任)
服部比呂美 (はっとりひろみ)

①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士 (民俗学)。国立文化財機構東京文化財研究所客員研究員、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員、本学兼任講師などを経て現職。②日本各地で子ども集団が主体となる民俗行事などの実態から研究を進めてきました。今後もフィールドワークを重視する本学の民俗学の伝統を継承し、一層の努力をいたす所存です。

◆助教
手塚雄太 (てづかゆうた)

①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士 (歴史学)。鎌谷市郷土資料館主事 (兼) 学芸員を経て現職。②近現代日本の政治史・地域史を専門としています。このたび母校である国学院大学に奉職することとなりました。本学の実証史学の伝統を守り、また発展させられるよう、精進していきたいと思っております。

経 済 学 部

◆准教授
細谷圭 (ほそやけい)

①一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士 (経済学、一橋大学)。日本学術振興会特別研究員、東北学院大学経済学部准教授等を経て現職。②マクロ経済学、公共経済学が専門領域です。人口減少社会・少子高齢社会のマクロ経済への影響や震災復興のマクロ経済問題などを中心に、学生とともに研究していきたいと思っております。

◆助教 (特別専任)
齊藤光弘 (さいとうみつひろ)

①東京大学大学院情報学環・学際情報学府修士課程修了。経営コンサルタントなどを経て現職。②企業における人材開発・組織開発が専

門です。学生の皆さんが社会に出た後に、本学で学んで良かったと思えるような学びの機会を創れるように、精進いたします。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

法 学 部

◆専任講師
川村尚子 (かわむらなおこ)

①同志社大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。②民法、なかでも契約法を専門としています。歴史と伝統ある本学で、研究にしっかりと取り組むとともに、法律学におけるものの考え方や他者との議論を通じて多様な価値観に触れ理解する姿勢、そしてその面白さを学生に伝えられるよう精進してまいります。

人 間 開 発 学 部

◆教授
田村学 (たむらまなぶ)

①新潟大学教育学部卒業。文部科学省教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省視学官などを経て現職。②21世紀に求められる資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、「アクティブ・ラーニング」と「カリキュラム・マネジメント」が必要です。学生の皆さんと新しい教育について考えていきたいと思っております。

研究開発推進機構

◆助教
齋藤公太 (さいとうこうた)

①東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。本学ポスドク研究員などを経て現職。博士 (文学)。②専門は日本思想史・宗教史です。これまで近世から明治期にかけての神道思想について研究してきました。本学では多様な視点から日本文化研究を深め、その成果を社会に発信していけるよう、力を尽くしてまいります。

◆助教 (特別専任)
吉永博彰 (よしながひろあき)

①国学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。博士 (神道学)。本学兼任講師・ポスドク研究員などを経て現職。②中世・近世の神道・神社の歴史および、祭祀のための用具 (祭具) の研究を専門としています。神道・日本文化の講究並びにその成果の国内外への発信を軸として、伝統ある本学の一層の発展のために邁進してまいります。

教育開発推進機構

◆教授 (特別専任)
久保田正人 (くぼたまさひと)

①筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科中退。千葉大学教授を経て現職。②英語教育の改革をするために赴任しました。2年をめぐりに、これまでどの大学でも行われたことのない新しい英語科目の制度設計をします。

◆教授 (特別専任)
溝越彰 (みぞこしあきら)

①東北大学大学院文学研究科修士課程 (言語学・英語学専攻) 修了。静岡大学、東北大学、東京女子大学の助教授・教授職などを経て現職 (東北大学名誉教授)。②日本に関心を寄せる海外の人々が増えている中で、国学院は日本文化の発信と国際理解に大きな役割を果たせる可能性があります。そのための英語教育の環境作りに貢献したいと願っています。

大 学 事 務 局

◆総合企画部企画・エクステンション事業担当部長
滝田忠之 (たきたただゆき)

①玉川大学工学部経営工学科卒業。丸善 (現丸善雄松堂) を経て現職。②中期計画である「21世紀研究教育計画 (第 4 次)」が本年度より実行されます。ここで掲げる 5 年後の姿「人文・社会科学系の『標』となる」を実現すること、そのために目標達成の視点で従来の枠組みを超えて柔軟な業務遂行をしております。皆様力が不可欠ですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆総務部総務課書記補
松澤美里 (まつざわみさと)

①国学院大学神道文化学部神道文化学科卒業。国学院大学総務部校友課・同総務課事務嘱託を経て現職。②伝統ある母校に奉職できることを大変光栄に思います。国学院大学の名に恥じぬよう、また感謝の気持ちを忘れず、職員としての責任を果たせるよう精進して参ります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

◆教学事務部教育開発推進機構事務課書記補
荒澤祥子 (あらかさわさちこ)

①国学院大学経済学部経営学科卒業。国学院大学国際交流事務部国際交流課・教学事務部教育開発推進機構事務課事務嘱託を経て現職。②長い歴史と伝統ある母校で奉職できることを大変嬉しく思います。学生に寄り添う気持ちを忘れず、学生の成長と本学のさらなる発展に貢献でき

るよう、尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

◆財務部経理課書記補
清水猛 (しみずたけし)

①国学院大学文学部日本文学科卒業。国学院大学財務部経理課事務嘱託を経て現職。②母校のさらなる発展のために、これまで以上に精進してまいります。そして何より、在学生がよりよい学生生活を送り、社会に貢献できる大人へとなれるよう、持ち前の体力をいかして精一杯尽力いたします。ご指導のほどよろしくお願い致します。

◆総合企画部広報課
江場仁彦 (えばまさひと)

①平成 29 年 3 月慶応義塾大学文学部人文社会学科倫理学専攻卒業。②この度総合企画部広報課への配属となりました。私なりに見つけた本学の良さ・素晴らしさを多くの方々にお伝えし、国学院と関わりを持って良かったとより感じていただくべく頑張ります。本学のさらなる発展の一翼を担いたいです。

◆教学事務部教務課
神山拓未 (かみやまたくみ)

①平成 29 年 3 月国学院大学法学部法律学科卒業。②この度教学事務部教務課に配属になりました。さまざまな業務を率先して行い、早く業務を覚え、母校である国学院大学に貢献していきたいです。また自分が行ってきた業務を振り返り、反省点を見つけ、改善していくことを心がけます。至らない点も多いと思いますが、日々精進していきますので、よろしくお願い致します。

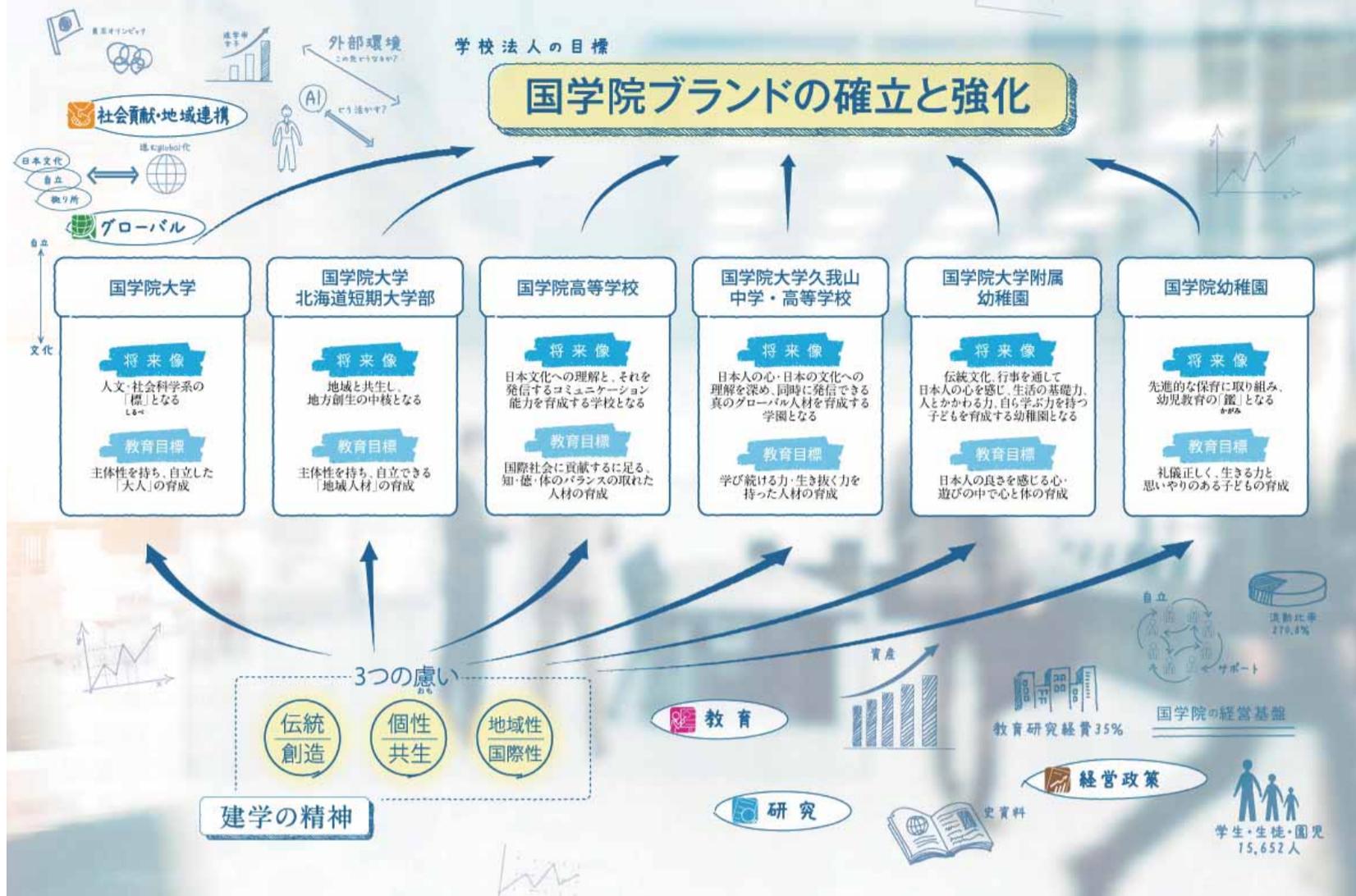
◆教学事務部大学院事務課
末次明日美 (すえつぐあすみ)

①平成 29 年 3 月国学院大学文学部史学科卒業。②職員として母校に恩返しができることを大変嬉しく思います。学生が充実した大学生活を送れるように心のあたたかい職員になる事、大学の魅力をもっともっと多くの方々に感じていただけるような職員になる事が目標です。精一杯頑張りますので、皆様よろしくお願い致します。

◆学生事務部キャリアサポート課
加藤希美 (かとうのぞみ)

①平成 29 年 3 月学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科卒業。②多くの素晴らしい先人たちが作り上げてきた国学院大学で働けることを、嬉しく思います。職員としての自覚・責任を持ち、学生一人一人がのびのびと学び、誇りを抱ける学校を作れるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

21世紀研究教育計画(第4次)概念図



150周年に向け始動

各校の総合力で次なるステージへ

今日の教育界を取り巻く環境は、少子高齢化やグローバル化の進展等、大きく変化しており、教育内容や方法をはじめ、社会から求められる教育機関の役割も複雑化・多様化しています。

混迷を深める時代において、学校法人として永続性を担保しながら、発展・充実していくためには、組織としての目標を明確に定め、戦略に基づいて資源を集中的に投下してい



学校法人国学院大学 理事長 坂口吉一

世界に発信できる人材育成

歴史のなかで形成された基盤をもとに、新たな価値の創造に挑戦します。

目標に掲げた「国学院」ブランドとは、学校法人国学院大学に関わる全ての人によって形成されるものです。園児・生徒・学生の成長によって評価される教育の質や、各教育機関が輩出する人材の活躍等によって得られる社会的評価、教育・研究に関する教職員の取り組みへの評価、

教育機関が策定した計画は、5年後のありたい姿を明示した将来像と、将来像達成に向けた戦略とによって、何をすべきか、何ができるかを想起しやすいうように設計されています。法人としては、各教育機関の計画が円滑に遂行されるために、ガバナンス体制をより一層強化し、安定的な財政基盤のための施策や施設・設備等の環境整備に取り組んでまいります。

かなければなりません。学校法人国学院大学では、このような状況を踏まえて、法人の5年後の目標を「国学院ブランドの確立と強化」と定めた第4次の「21世紀研究教育計画」を策定いたしました。「21世紀研究教育計画」は、1期5ヶ年の中期計画であり、創立120周年を契機として、平成14年度に策定され、以降3期15年にわたって取り組んでまいりました。第4次計画では、15年間の成果検証と、創立以来135年の

積極的な情報発信による知名度向上などの総体が、「国学院」ブランドになると考えています。この考えに基づき、これまでは大学中心の計画であった「21世紀研究教育計画」を、今次の計画から法人全体で取り組むものと位置づけました。

法人傘下の各教育機関は、この「国学院ブランドの確立と強化」という大きな方向性の中で中期計画を策定し、それぞれの長を活かした取り組みを推進してまいります。各

将来を左右する重要な時期となり、第4次計画を推進することで、各教育機関の魅力や価値が向上し、その結果、学校法人国学院大学の「ブランド力」が確立され、強化されるものと期待しております。今後も、本計画を軸に、激変する時代を生き抜く力を持ち、学校法人国学院大学の使命である日本と日本文化を世界に発信できる人材の育成に取り組んでまいります。

学校法人 国学院大学

第4次計画では、取り組み主体を大学から法人全体へと拡大した。教育の質にとどまらない総体としての「国学院ブランド」を目標として掲げ、ガバナンス体制の強化や安定的な経営基盤の整備にまで及ぶ広範囲な課題に対して、戦略と行動計画を設定した。

戦略は、目的を意識できるよう達成後の姿として言語化し、「教育」「研究」「グローバル」「社会貢献・地域連携」「経営政策」の5つの視点で、行動計画の方向性を指し示してい

る。また、評価指標として、将来像にふさわしい目標値を掲げることで、挑戦する姿勢を意識づけている。

将来像と教育目標 各教育機関が設定

将来像と教育目標を策定するにあたり、法人傘下各機関は現状を分析し、強みと弱み、社会的要因として機会となる要素、脅威となる要素を列挙し、課題とともに、今後5年間をかけて注力していく項目について検討を重ねた。

国学院大学は、これまでの計画の検証結果をふまえ、取り組み課題を精選し、社会からの負託に応え発展した姿を示した。国学院大学北海道短

期大学部においては、地域との関係性を重視し、国学院高等学校と国学院大学久我山中学・高等学校では、グローバル社会の進展を見据えた人材の育成を掲げている。国学院大学附属幼稚園と国学院幼稚園においては、豊かな感性を育む体験教育をうたっている

【上図参照】

また、戦略は、学生や生徒、園児をはじめとした関係者や社会からどのような評価を得たいのか、そのためには、どのような仕組みが実現している必要があるのか、さらには、構成員一人ひとりがどのような能力に努め、組織としての能力の向上を目指すのかという3つの視点をういて策定した。

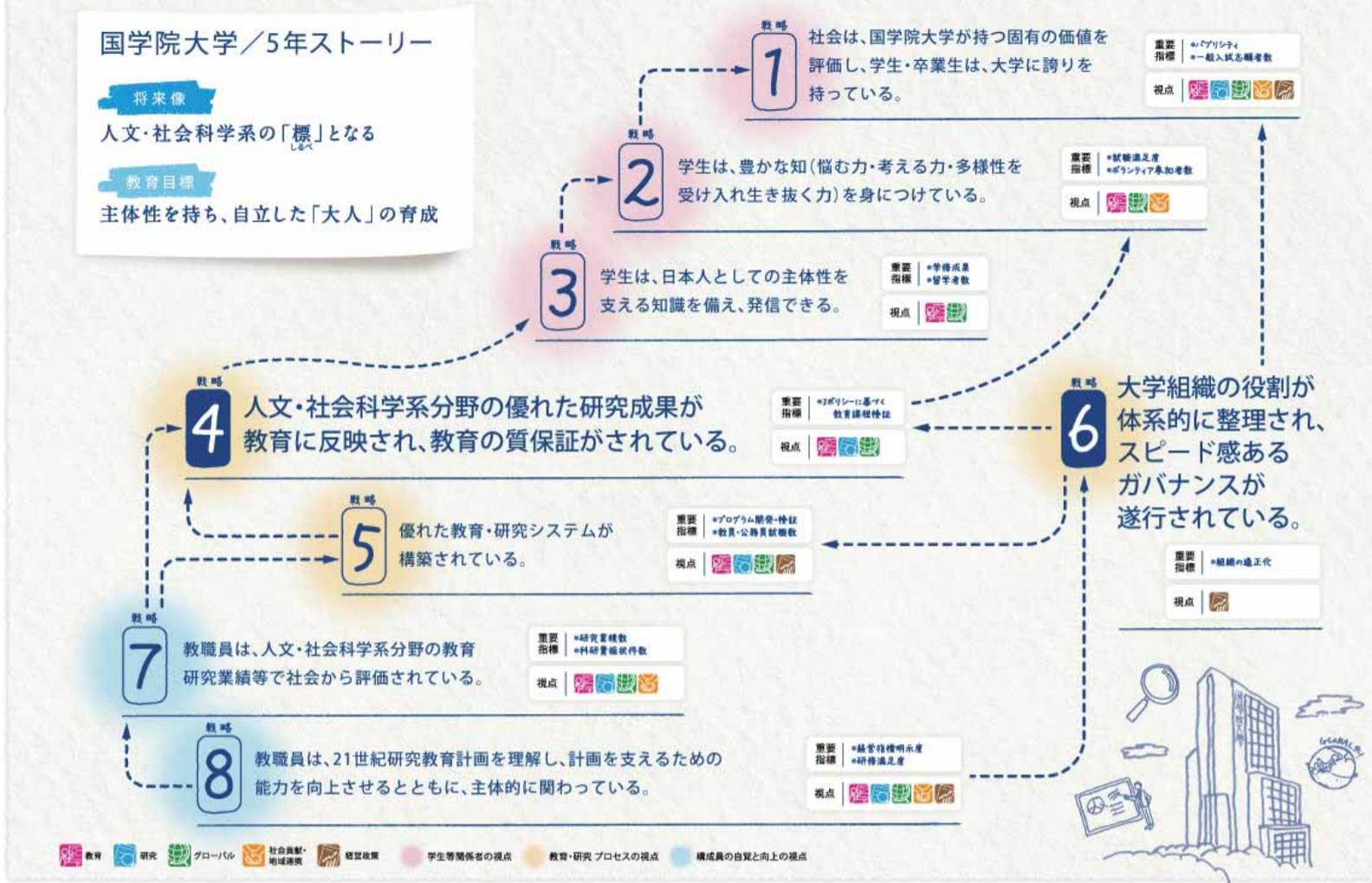
戦略に目標となる 成果指標

第3次で導入した目標値設定の検証をもとに、戦略ごとに客観的成果指標を設定した。行動指標ではなく、成果指標とすることで、行動することが目的化することなく、当初の目的を意識した行動となるよう、留意している。

今次の計画は、各校が戦略に基づいた行動計画を遂行することで、将来像を達成する構造となっている。今後は、本計画を中心に、教育・研究をはじめとした諸活動を推進し、各校の魅力を高めていく。

【各校の戦略と行動計画は本学ホームページをご覧ください】

【各校の戦略と行動計画は本学ホームページをご覧ください】



21世紀研究教育計画(第4次)

「標」と「大人」をキーワードに展開

国学院大学



本質を究める大学を目指す

国学院大学 学長 赤井 益久

国学院大学の将来像は、「人文・社会科学系の『標』となる」と決めました。「標」には、人文・社会科学系における指標や目標となるという思いを込めています。今次の計画では、創立以来135年にわたる実績を礎に、強みをさらに伸ばし、本質を究める大学を目指します。

教育目標は、「主体性を持ち、自立した『大人』の育成」とし、本学での学びによって、豊かな知と実践力を養い、多様化する社会を生き抜き、動かすことのできる人材を育成してまいります。

将来像に向かい、孜々として努力し続ける姿、挑戦する姿勢そのものが、みなさまにとっての標となるよう、邁進してまいります。

「人文・社会科学系の『標』となる」、教育目標に「主体性を持ち、自立した『大人』の育成」を掲げた。将来像に向けた8つの戦略と「上図参照」、各戦略に対して5〜10件の行動計画を設定している。各戦略の行動計画へのストーリーは次のとおり。

戦略1…「国学院大学が持つ固有の価値」とは、創立130有余年間で培った有形・無形の価値をいう。それは、教育・研究の実績、伝統、人的ネットワーク、信頼性などの価値を意味し、未来に向け価値創造している姿が評価されている状態を目指す。また、学生や卒業生、教職員、保護者などの関係者が、国学院大学に誇りを持てるように各種施策を実行する。

戦略2…「豊かな知」とは、知識の獲得ならびに、それを運用する能力であり、市民性と公共性、倫理観などを含むものとする。正課での学び、サークル活動やボランティア活動、また国際社会との関わりの中で、培われるものと考えられる。入学から卒業までの一貫した教育と、ボランティアや留学、外国人学生とのコミュニケーション等の実践的な経験を主な取り組みとしている。

戦略3…「グローバル」とは「ローカル」の集合体であり、多様性を尊重し、他者を理解することが真のグローバル化である。その一歩として、日本語・日本文化・神話等の日本文化の知識を獲得させるための取り組みと、他文化との比較による日本文化の相対的な理解に関する取り組みを通して、日本の育んできた文化

・精神性について学ぶ。

戦略4…教育の質保証は、優れた研究成果が教育に反映されることによる担保される。組織的に研究の活性化を図り、その成果を3ポリシーに基づき、教育に適切に反映していく施策を展開する。また、3ポリシーに基づいたPDCAサイクルを不断に展開促進していくことによっても質保証を実現する。

戦略5…3ポリシーに基づく入学から卒業までの一貫した教育をはじめ、ポリシーに基づいた体制構築の検証や、成果を確認する一連のサイクルを整備する。カリキュラム・ポリシーと、教育課程、教育組織、教員業績などの整合性や、教育・研究支援システムの整備・各施設の充実も含め、不断の検証のもとに教育・研究活動が充実させているその過程が、「標」となることを

目指す。

戦略6…組織の役割を体系的に整理し、意思決定プロセスの見直しと適切な権限委譲によって、創造的な改革を視野に入れた重要な課題解決に注力できる体制を整える。

戦略7…教職員が、学協会や政府、自治体の委員会など公共性のある団体へ参画することを通じて、社会との接点を増やし、研究成果や国学院大学が持つ固有の価値を、有効に活用する。教職員の活動を組織的に支援し、社会の負託に応えることで、評価を得ていく。

戦略8…本計画の実効性を高めるには、教職員一人ひとりの参画意識と、資質・能力の向上が必須である。組織的・体系的な研修制度を確立し、職位、職階、経年などに応じて適切な育成を行い、計画を推進していく力を養う。

博物館 No.1

学芸員の資料ファイル

今月の資料 **拳手人面土器**

時代: 古墳時代(前期)・4世紀
出土地: 長野県長野市若穂保科 片山遺跡出土

千曲川支流の保科川南岸に所在する片山遺跡は、大きな石の下に古墳時代前期の土器が埋納されていた特殊な遺跡。本資料は、身体に見立てられた類例のない土器であり、胴部に顔面を表現し、腕を模した一對の突起を持ちます。一緒に出土した高杯・壺・器台と同じく、4世紀中頃に作られたものでしょう。近くの和田東山古墳群や、大星山古墳群を営んだ人々が用いたものでしょうか。

展示案内: 本資料は、博物館の常設展示(考古展示室)でご覧いただけます。
ウェブサイト案内: <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>



学長特別賞に柔道部・藤阪泰恒君

平成28年度の学長特別賞に、柔道の国際大会で優勝した藤阪泰恒君(健体3・柔道部)が選ばれた。学長特別賞は、課外活動において素晴らしい成績を収め、本学の名を大いに高めた学生・団体を表彰する学生部長賞の中から特に優れた功績を残した者に贈られる。藤阪君は2月に行われた、ワールド柔道ツアーのヨーロッパオープン・ローマ大会60kg級での優勝をはじめ、国内外で行われた複数の大会で好成績を収めたことが評価された。また、全日本柔道連盟の男子B強化選手にも選ばれており、東京五輪などでの活躍も期待されている。

4月2日の表彰式で赤井益久学長から賞状が贈られ、その活躍がたたえられた。藤阪君は「このような賞は誰でももらえるものではないので大変光栄です。坂本大記監督と川上智弘コーチに外国人対策を見てもらったおかげで結果ができました」と師への謝辞を述べ、「これからも柔道だけでなく、勉学にも励んでいきたい」という引き締まった思いです」と力強く語った。

若木育成会から教育環境整備協賛金目録贈呈

3月19日、グランドプリンスホテル新高輪で、「若木育成会教育環境整備協賛金目録贈呈式」が行われた。三竹俊彦同会会長から赤井益久学長に目録が贈呈された。

若木育成会は在学生保護者の組織。大学と保護者との連絡を密にし、学生の勉学と福祉、大学教育の振興充実、併せて会員相互の親睦を図ることを目的としている。今回の協賛金は教育環境整備のために活用される予定。



院友神職会から寄付目録贈呈

卒業生の神職によって組織される国学院大学院院友神職会から、支援奨学資金として本学に寄付が贈られ、その目録の贈呈式が3月16日に行われた。贈呈式では、松山文彦同会会長(昭43修・76期神専攻、東京大神宮宮司)から赤井益久学長に目録が手渡された。

学生証一新

平成29年度から、本学の学部・大学院などの学生証の券面デザインが一新された。デザインの変更は、平成16年度以来13年ぶり。スクールカラー(赤紫)を取り入れるなどしている。機能の変更はない。



新デザインのカードは、今年度の入学者などから順次切り替えられる。在学生は、有効期限内は、従来の学生証を使用する。

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」表彰

教育開発推進機構教育開発センターでは、「学生による授業評価アンケート」に基づく顕彰制度「ベスト・ティーチング賞」を実施している。昨年度は、「到達目標の達成度」基準でマーク・ザイオン兼任講師(文学部)、恩田哲也兼任講師、高橋康輝兼任講師(以上人間開発学部)、「総合満足度」基準で、矢部健太郎教授、吉住香織兼任講師、綿引光友兼任講師(以上文学部)、長浜尚史兼任講師(人間開発学部)の受賞が決まった。表彰式は3月29日に渋谷キャンパスで行われ、赤井益久学長から正賞と副賞が手渡された。

学生部長賞に4団体・15人

学生部は、学生の課外活動の助成と向上等を目的とした昨年度の学生部長賞の受賞団体と個人を決定した。今回の受賞は4団体と個人15人。

表彰式は、3月15日午後5時30分から渋谷キャンパス若木タワー有栖川宮記念ホールで行われた。表彰式では、黒崎浩行学生部長・神道文化学部教授から賞状と副賞が贈られた。受賞団体・個人、受賞理由は以下のとおり(敬称略・順不同、所属は当時)。

- ◎**団体の部**
 - ◆**剣道部**▽第42回関東女子学生剣道優勝大会準優勝、第17回関東女子学生剣道新人戦大会優勝
 - ◆**ドリル競技部SEALS**▽チャリデーイング&ダンス全国選手権USAナショナルズ2016 大学編成Pom-Small部門1位
 - ◆**ソフトテニス部**▽関東大学対抗競技大会 準優勝
 - ◆**吹奏楽部**▽第50回定期演奏会の開催及び日ごろの大学に対する貢献
- ◎**個人の部**
 - ◆**有働日向子**(日文2・剣道部)▽第48回関東女子学生剣道選手権大会第3位
 - ◆**飯塚奈歩**(経4・スキー部)▽第31回全日本ジャンピオン大会スーパージヤイアントスラローム優勝
 - ◆**藤阪泰恒**(健体2・柔道部)▽文部科学大臣賞受賞、ポランドジュニア国際柔道大会男子60kg級準優勝、2017年ヨーロッパオープン・ローマ国際柔道大会 男子60kg級優勝
 - ◆**二見省吾**(経2・柔道部)▽ジュニア国際大会2016年インターナショナルカップブラジル大会日本代表として団体優勝及び全日本学生ジュニア柔道体重別選手権大会男子90kg級準優勝
 - ◆**泊耕大**(健体2・柔道部)▽全日本ジュニア柔道体重別選手権大会男子66kg級第3位
 - ◆**島田隆志郎**(健体1・柔道部)▽ジュニア国際大会2016年インターナショナルカップブラジル大会日本代表として団体優勝及び全日本学生ジュニア柔道体重別選手権大会男子90kg級準優勝
 - ◆**齋藤翔一**(史4・ソフトテニス部)▽第67回関東ソフトテニス選手権大会ダブルス準優勝、平成28年度秋季首都リーグ戦・ダブルス選手権大会 男子優勝
 - ◆**宮城利紀**(神文3・ソフトテニス部)▽第67回関東ソフトテニス選手権大会ダブルス準優勝、平成28年度秋季首都リーグ戦・ダブルス選手権大会 男子優勝
 - ◆**久保田昌也**(健体4・硬式野球部)▽東都大学野球春季1部リーグベストナイン(二塁手)、第40回日米大学野球選手権大会日本代表選出 日本優勝
 - ◆**山崎剛**(経営3・硬式野球部)▽東都大学野球春季1部リーグベストナイン(二塁手)、第40回日米大学野球選手権大会日本代表選出 日本優勝
 - ◆**富田剛弘**(神文1・スポーツチャンバラ部)▽第23回スポーツチャンバラ全日本学生選手権大会 男子長剣フリー新入の部 優勝
 - ◆**矢野瑞季**(初教3)▽第58回全日本女流アマチュア囲碁選手権大会 第4位
 - ◆**真船啓太**(法3・軟式野球部)▽東都学生軟式野球1部秋季リーグ戦 首位打者・敢闘賞・ベストナイン(外野手)
 - ◆**松本理沙**(日文3・卓球部)▽平成28年度秋季関東学生卓球2部リーグ 殊勲賞



オープンカレッジ 28人が修了

本学のオープンカレッジは、昨年度55講座を開講し、のべ1900人に「学びの場」を提供してきた。オープンカレッジでは独自の単位を設けていて、累計単位が32単位になった時点で、「国学院大学オープンカレッジ修了証」を授与している。

所定の単位を満たした昨年度の修了生は28人。3月1日に修了式が行われ、出席した12人に公開講座委員長の小川直之文学部教授から修了証が授与された。



柔道部 藤阪君、二見君 国際大会で優勝



シニア国際大会初優勝の藤阪君(左から2人目)



優勝した二見君(壇上左端)

合同企業説明会

3月6日から9日の4日間、渋谷キャンパス120周年記念1号館で、本学キャリアサポート課主催の平成29年度末卒業予定者を対象とした学内合同企業説明会が行われた。4日間で本学学生の採用意欲が高い企業・団体計約200社が各教室にブースを設けたのに対し、のべ約2400人の学生が各企業説明会に参加した。説明会は、午前の部が午前9時30分から、午後の部が午後1時50分からで、40分の説明を各4回行うスケジュールで進められた。学生たちは、この貴重な機会を利用して、多くの会社情報を得ようと熱心に教室をめぐっていた。



団体・個人の成績

スキー部 = 秩父宮杯・秩父宮妃杯第90回全日本学生スキー選手権大会(全日本学生スキー連盟主催)が2月20日から24日まで岩手県内で行われた。男子は所属する1部で総合14位、女子は所属する2部で総合17位だった。

ソフトテニス部 = 首都学生ソフトテニス春季リーグ戦が4月9日に東京経済大学村山校舎テニスコートで行われた。1部に所属する女子は、4勝1敗・勝ち点4で初優勝を果たした。初戦を落としたものの、2戦以降は接戦を制し勝利を重ねた。最終成績で東京経済大学と並んだが、直接対決の結果、同部の優勝が決まった。同部は、昨春1部昇格したばかり。

ドリル競技部 SEALS = USA School & College Nationals 2017 -高校 Song・大学- (USAジャパン主催)が、3月28日に幕張メッセで行われた。同部は、大学編成Pom-Small部門で昨年に続き連覇を果たした。

2、3月に行われた柔道の国際大会で本学柔道部員が、大きな成果を挙げた。2月18日・19日にイタリアローマで行われたヨーロッパオープン・ローマ大会男子60kg級では、藤阪泰恒君(健体3)が優勝。藤阪君は、ジュニアの国際大会では優勝の実績があるが、シニアの大会では今回が初めて。全日本柔道連盟の強化選手として東京五輪の候補選手の一人としてさらなる成長が期待される。3月4日・5日に行われた2017年香港オープン大会では、男子90kg級に出場した二見省吾君(経3)が優勝を果たした。世界11カ国の選手が出場した同大会で、二見君は、準決勝を背負い投げで一本勝ち。決勝は、同じ日本代表で昨年の全日本ジュニア柔道体重別選手権大会で同階級優勝の神島剛君(明治大)と対戦する予定だったが、相手選手が負傷により棄権し、二見君の優勝が決まった。同部からは4月15日(土)、16日(日)にロシア・サンクトペテルブルクで行われるロシアジュニア国際大会の日本代表として、73kg級に島田隆志郎君(健体2)が選出されている。

強化部会主なスケジュール(5月)

硬式野球部 = 東都大学野球春季1部リーグ戦 対中央大①(5/1(月)13:30・神宮球場)、同②(5/2(火)10:30・同)、対東洋大①(5/9(火)13:00・同)、同②(5/10(水)10:30・同)、対亜細亜大①(5/16(火)11:00・同)、同②(5/17(水)13:30・同)

柔道部 = 平成29年度東京学生柔道優勝大会(5/28(日)9:30・日本武道館)

剣道部 = 第63回関東学生剣道選手権大会(5/14(日)9:00・日本武道館)、第49回関東女子学生剣道選手権大会(5/20(土)9:00・東京武道館)

蹴球部 = 東京都大学サッカーリーグ戦1部 対一橋大(5/7(日))、対東京経済大(5/14(日))、対帝京大(5/21(日))、対明治学院大(5/28(日)) 時間・場所は同部HPなどで確認を。

卓球部 = 関東学生卓球春季リーグ戦 男子2部(5/19(金)~21(日)・所沢市民会館)、女子1部(5/4(木)祝~5(金)祝・港区スポーツセンター、5/19(金)~21(日)・所沢市民会館)

ソフトテニス部 = 関東学生ソフトテニス春季リーグ戦(5/6(土)~7(日)・千葉県白子町)、関東学生ソフトテニスシングルス選手権大会(5/8(月)・同)、関東学生ソフトテニスダブルス選手権大会(5/9(火)~10(水)・同)、関東ソフトテニス選手権大会(5/27(土)~28(日)、茨城県神栖市) ※予定は天候等により変更になる場合あり。

interview

史上24人目の 通算100安打を目指して

硬式野球部 山崎剛 選手

毎年、白熱した激戦が続く東都大学リーグ1部の常連校として活躍する硬式野球部。山崎剛君(経営4)は、2年時には打率4割を記録して首位打者も獲得した巧打好守の内野手だ。大学生生活最後となる今年は東都大学リーグ史上24人目となる通算100安打の大記録に挑む。

——硬式野球部は1917年に創部。1931年からスタートした東都大学野球リーグで1部リーグの常連校として活躍しています。

山崎剛選手(以下、山崎) : はい。東都リーグは、毎年、上位の部の最下位とその下の部の優勝チームで入れ替え戦が行われます。いつも1部リーグにいられるわけではないので、毎試合、少しも気が抜けません。自分たちも毎年、すごくプレッシャーはありますが、先輩方がずっと頑張ってきた歴史があるので、甘えたことは言ってられないです。

——今年は、東都リーグ史上24人目となる「通算100安打」達成の大記録まであと31安打と迫っています。

山崎 : ありがとうございます！100安打のほうも打率3割以上を目標にして、一打席一打席を大事にしていけば、結果としてついてくるのでは？と思っています。個人的には、ずっと続けてきた筋トレの成果も出て、長



打率もついてきたので、打率3割以上で、盗塁数もいい記録が出せるよう、打って、守って、走っての活躍を目指して頑張りたいです。でもいざばんの目標はやっぱり、2010年以降のチームのリーグ優勝。最終学年のメンバーとして、ぜひ自分たちの代で優勝したいです。

——応援があると力が出るかと思えます。応援に来られる方にもどこまでお教えください。

山崎 : 東都大学リーグは、一試合、一試合が接戦で、すごく面白いと思います。応援の声があると燃えるので、みなさんもぜひ一度、神宮球場まで足を運んでください。

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院メディア」に掲載。

博物館

平成29年度「国学院大学春の特別列品 一絵でみる日本のものがたり」

「俵藤太物語」「竹取物語」「酒呑童子」の3つの物語が描かれた絵巻物や屏風など、国学院大学図書館が所蔵する貴重資料を展示します。まとめてお目にかかることのない資料の数々をこの機会にじっくりとご覧ください。

特集展示「神田祭今昔」

■天下祭として知られる神田神社の例祭「神田祭」。「神田神社 御造営・御修復」、「神田御祭礼番附」(天保8年)、「秋本治『こちら葛飾区亀有公園前派出所』連載四十周年 江戸総鎮守 神田明神 遷座四百年記念奉納絵巻」(複製)など神田神社および国学院大学所蔵資料から、神田祭の昔と今をみていきます。神田神社共催。

■4月14日(金)～5月21日(日) ※5月1日(月)～4日(木)は休館

■10時～18時(入館は17時30分まで)

■国学院大学博物館 神道展示室

■無料

※博物館関連イベントの問い合わせは、☎03・5466・0359まで

若木育成会

「支部の集い」にご出席を

■本学の学部・専攻科・別科在学生(外国人留学生除く)の保護者らで組織される若木育成会では、平成29年度「支部の集い」を開催します。本学の現況、学修・就職状況等の説明に加え、疑問や悩みについて個別面談でも対応します。新入生の

保護者にとっては本学を知る初めての機会ですので、ぜひご出席を。若木育成会ホームページ (https://www.kokugakuin.ac.jp/student/ikuseikai/p5/p1)

- 別表参照
若木育成会員
開催1か月前頃に郵送する案内状に同封の出席回答ハガキを指定期日までに投函
校友課☎03・5466・0131

若木育成会「支部の集い」スケジュール

Table with 4 columns: 支部名, 日程, 時間, 会場. Lists various branches and their meeting details.

LLC

TOEIC学内テスト

LLCでは、年に6回、団体受験特別制度(IP: Institutional Program)としてTOEIC IPテストを実施しています。公開テストとIPテストのスコアの有効性はTOEIC主催団体により同一とされています。※企業、大学等により基準が異なる場合もあります

■渋谷キャンパス(教室は試験1週間前をめどにお知らせします)

■3500円

■本学在学生

■後日決定する申し込み期間中に、自動証紙発行機で証紙を購入し、各キャンパスのLLCに提出

■渋谷キャンパス: LLC(学修支援センター相談室<3号館3階内>)

■たまプラーザキャンパス: LLC YOKOHAMA OFFICE(1号館1階)

※情報は4月1日現在、詳細はHP等で確認を

キャリアサポート

就活スタートガイダンス①

3年生にとっては、いよいよ始まる就活の準備に必須のツール就職ナビサイト(大手就職情報会社4社)の特徴説明・一括登録を行います。また、就活に必要な「就職カード」を

配布するほか、通常有料のSPI模擬試験も無料配布します。

■5月15日(月)6限、16日(火)6限、17日(水)3限、17日(水)5限

■渋谷キャンパス

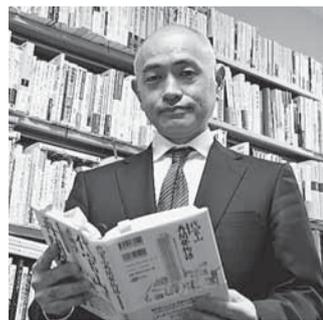
■3年生

※詳細確認・申し込みはK-SMAPYのキャリアサポートシステムから

7年目の春

春は出会いと別れを多く経験する季節だが、6年前、東日本大震災がそこに重なった。

福島県立博物館などからなる「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」によって収集された震災遺産の展示が、昨年、東京、会津若松で行われた。そのなかで強い印象を受けたのが、浪江町の新聞販売店にあった折り込み広告の束だった。携帯電話やランドセルなど、春の新生活に備えた商品広告で、それは配達されずに残されたのである。



若木が丘 だより

神道文化学部教授・学生部長 黒崎 浩行

浪江町の請戸地区に鎮座する若野神社では、2月に例大祭(安波祭)が行われ、「請戸の田植踊」が奉納されてきた。その踊り子たちも家族や親戚、友達を津波で失いながら...

供したのが、院友会浜通り支部長の山名隆弘氏(いわき市・大國魂神社宮司)だった。震災以降毎年7月にいわき市で行われる「東日本大震災慰霊鎮魂ならびに復興祈願千度大祓」に本学学生も参加させていたのだが、平成26年以降、この行事で請戸の田植踊が奉納されている。だから、のべ120人ぐらいの本学学生が、田植踊を継承する踊り子たちに間近に接してきたことになる。

個人情報の取り扱いについて

「国学院大学学報」を編集する広報課では、「国学院大学個人情報保護に関する規程」に基づいた上で、マスメディアの報道で得た情報、当該で独自に取材した情報、本学学生生活課に報告された学生団体・個人の大会成績・企画書などで得た情報、本学が主催するコンテストの結果などを、本紙や本学ホームページをはじめ当課が扱う広報媒体で公表しています。公表を希望されない方は事前に当該までご連絡ください。

総合企画部広報課

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆様からのご意見・ご感想を募集しています。今後、定期的に本紙にて「読者の声」を紹介していく予定です。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。ご投稿は以下の要領でお願いします。

- ①今号の満足度5段階(低1~5高) ②本紙へのご意見 ③住所 ④氏名 ⑤所属など(在学生の場合<学科・学年>、保護者、院友<本学卒業生>)、本学・本法人教職員、その他(いずれか)を明記の上、はがき・FAXで国学院大学広報課(連絡先は1面参照)までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報は法令に基づいて取り扱いいたします。 ※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません



インフォダイジェスト

..... 在学生 卒業生 一般 受験生
 内容 日におち 時間 場所 対象 申し込み 料金 問い合わせ

大学からのお知らせ

教育充実資金（維持費）のお願い

■本学では、財政を確立し教育の内容維持・充実を図る目的で新入生の保護者を対象に教育充実資金（維持費）のご寄付をお願いしています。任意ではございますが、本学の更なる教育・研究の向上のため、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。一口20万円、振込締切日は7月31日(月)です。
 ■保護者、大学院生
 ■総務部総務課
 (☎03・5466・0111)

健康診断証明書について

■平成29年度の健康診断証明書は5月10日(水)から発行します。各種実習・就職活動などで必要な場合は、証明書自動発行機から発行して下さい。健康診断未受検・再検査未受検・健康診断結果に所見のある人は当日発行できません。期日に余裕を持って手続きしてください。

■保健室 (☎03・5466・0148)

健康診断の結果票について

平成29年度の健康診断結果票の発行開始は、6月1日(木)の予定です。保健室にて年1回無料で発行できます。健康診断の結果のため、健康診断証明書としては使用できません。

■保健室 (☎03・5466・0148)

スキルアップ講座・検定の案内

■本学では、在学生のキャリア支援の一環として、外部専門学校(TACおよびLEC)と連携した資格取得に向けた各種講座を展開しています。受講を希望する学生には受講料の割引制度を用意しています。
 ■本学在学生
 ■それぞれの専門学校もしくはエクステンション事業課
 (☎03・5466・0792)

イベント 30

オープンキャンパス

■本学は、学びたい・知りたいという意思のある人へ常に開放的でありたいと思っています。オープンキャンパスでは大学の息遣いを直接感じることができます。行動した人だけが分かる本学の価値に気づくはず。

■5月14日(日)、6月25日(日)
 ■10時～16時
 ■渋谷・たまプラーザ両キャンパス
 ■入学課 (☎03・5466・0141)

本学が参加予定の進学相談会

■国学院大学では、各地で開催される進学相談会に参加予定です。5、6月の予定は表のとおりです。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。

■・■・■別表参照

International Coffee Hour

■学生の皆さんが新しい「なにか」と出会える場、「International Coffee Hour」を開催します。国際交流の機会をきっかけに、なにかを感じ、考え、行動しませんか。参加に必要なのは、あなたが得意な言語(日本語もちろんOK)と少しの勇氣です。Facebook グループページ(Kokugakuin K-STEP)に場所の変更など最新情報を載せています。

■7月21日(金)までのほぼ毎週金曜日

■渋谷キャンパス 5号館 3階 テラス (芝生があるところ)
 ■5限 (16時15分～16時45分)
 ■本学在学生 (事前登録不要)

生きがい講座2017

■①むかし遊びをやろう！＝昔から伝わる運動遊びを、みんなで体験してみましょ！ 保護者の方の世代も初めての体験かも!?②幼児に大切な栄養は何？献立をたてるコツは？＝「わが子に、栄養バランスのとれたいいものを」との思いがかなうよう、バランスのとれた献立をたてるコツと幼児期の心身の成長に関わる栄養素について話します。地域ヘルスプロモーションセンター主催。詳細はHPを参照。

■①5月20日(土)、②6月17日(土)
 ■10時～11時
 ■たまプラーザキャンパス
 ■①小学3年生以上と保護者15組
 ■②未就学児と保護者20組
 ■無料
 ■WEBフォーム(「国学院 地域ヘルス」で検索)、FAX(045・904・7707)、メール(kchpc@kokugakuin.ac.jp)のいずれかで。氏名・年齢・電話番号・住所・メールアドレス明記。
 ■地域ヘルスプロモーションセンター (☎045・904・7707)

国学院大学・渋谷区民大学講座

■ルーヴル美術館—永遠の美と新たな魅力—
 ■6月3日(土)
 ■10時30分～12時
 ■常磐松ホール (渋谷キャンパス 学術メディアセンター1階)
 ■無料 (定員200人)
 ■本学ホームページ(https://www.kokugakuin.ac.jp)またはFAX(03・5466・0528)、メール(jigyoun@kokugakuin.ac.jp)で、住所・氏名・電話番号・同伴者名を明記の上、5月31日(水)までに申し込み
 ■エクステンション事業課 (☎03・5466・0769)

進学相談会一覧 (5・6月開催分)

都道府県	都市	会場	日付	時間
北海道	札幌	ベルビュオフィス札幌	6月24日(土)	10:00～17:00
青森	青森	青森国際ホテル	6月8日(木)	14:30～18:00
青森	弘前	アートホテル弘前シティ	6月9日(金)	14:30～18:00
岩手	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング	5月17日(水)	14:30～18:30
宮城	仙台	仙台市情報産業プラザ アエル	5月22日(月)	15:00～18:30
秋田	秋田	にざわい交流館AU	6月7日(水)	15:00～18:00
山形	山形	山形県JAビル	5月19日(金)	14:30～18:00
茨城	水戸	水戸プラザホテル	5月30日(火)	14:00～18:00
栃木	宇都宮	マロニエプラザ	6月6日(火)	14:00～18:30
栃木	宇都宮	マロニエプラザ	6月7日(水)	14:00～18:30
群馬	高崎	ピエント高崎	5月20日(土)	14:00～19:00
群馬	高崎	高崎アリーナ	6月16日(金)	15:00～18:30
埼玉	大宮	大宮ソニックシティ	6月8日(木)	15:00～18:30
埼玉	大宮	大宮ソニックシティ	6月9日(金)	15:30～18:30
埼玉	川越	ウェスタ川越	6月9日(金)	15:30～18:30
埼玉	大宮	大宮ソニックシティ	6月19日(月)	14:30～18:30
千葉	幕張	東京ベイ幕張ホール	6月11日(日)	11:00～16:00
東京	池袋	池袋サンシャインシティ	5月27日(土)	10:00～17:00
東京	新宿	新宿エルタワー	6月10日(日)	13:00～17:00
東京	新宿	新宿NSビル	6月14日(水)	15:30～18:30
東京	池袋	池袋サンシャインシティ	6月18日(日)	11:00～16:00
神奈川	横浜	横浜新都市ビル(そごう)	6月3日(土)	13:00～17:00
神奈川	横浜	横浜新都市ビル(そごう)	6月15日(木)	15:30～19:00
新潟	新潟	朱鷺メッセ	5月21日(日)	11:00～16:00
新潟	新潟	朱鷺メッセ	6月16日(金)	15:00～18:30
山梨	甲府	アイメッセ山梨	6月11日(日)	11:00～16:00
長野	長野	ホテルブエナビスタ	6月13日(火)	15:00～18:30
長野	長野	ビッグハット	6月14日(水)	15:00～18:30
静岡	静岡	ツインメッセ静岡	5月21日(日)	11:00～16:00
静岡	静岡	ツインメッセ静岡	6月6日(火)	14:00～18:30
静岡	浜松	アクトシティ浜松	6月7日(水)	15:00～18:30
静岡	沼津	キラメッセぬまづ(プラサヴェルデ内)	6月8日(木)	15:00～18:30
静岡	静岡	ツインメッセ静岡	6月13日(火)	13:30～17:00
愛知	名古屋	ナディアパーク	6月10日(日)	10:00～17:00
大阪	大阪	梅田センタービル	6月17日(土)	10:00～17:00
広島	広島	基町クレド	6月11日(日)	11:00～17:00
福岡	福岡	エルガーラホール	6月18日(日)	10:00～17:00
沖縄	沖縄	沖縄市体育館	6月6日(火)	15:00～19:00
沖縄	那覇	沖縄県立武道館	6月7日(水)	14:30～19:00

卒業生も必携! 「国学院カード」 が新登場!

三井住友VISAカードと提携した新しいクレジットカード「国学院カード」が登場しました。在学生には「国学院カード」、卒業生・教職員には、「同クラシック」と「同ゴールド」をご用意。付帯サービスも続々追加予定です。ぜひ三井住友VISAカードWEBサイト内申し込みページからお申し込みください。

「国学院カード」申し込みページURL
<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/kokugakuin/index.jsp>

	国学院カード	国学院カード クラシック	国学院カード ゴールド
商品名			
追加カードラインナップ	ETC ID 専用カード ID 提携型	ETC ID 専用カード ID 提携型 家族	ETC ID 専用カード ID 提携型 家族
入会資格	学生の方	卒業生および修了者の方 / 教職員の方 / 関係者の方	卒業生および修了者の方 / 教職員の方 / 関係者の方
申込資格	満18歳以上の学生 (進学予定の17歳は対象) ※国学院大学生協同組合への加入が必須条件になります。	満18歳以上の方 (学生は除く)	原則として、満30歳以上で、ご本人に安定継続収入のある方 (学生は除く) ※ゴールドカード独自の審査基準により発行させていただきます。
年会費	無 料	・初年度無料 ・2年目以降1,250円 + 税 ただし、前年に50,000円カード利用で無料	10,000円 + 税 マイ・ペイすリポ+Web明細により初年度無料



記念講演
経済学部の尾近裕幸教授



学長告辞
赤井益久学長



来賓あいさつ
若木育成会の三竹俊彦会長



記念講演
神道文化学部の岡田荘司教授



新入生宣誓
文学部・土井良記君



新入生宣誓
経済学部・岩元ひろのさん



新入生宣誓
神道文化学部の小山侑香さんと
人間開発学部の平野愛さん



新入生宣誓
法学部・島崎隼輔君

本学の入学式に集った本年度の新入生。
笑顔を輝かせながら、「サークル活動が楽しみ」「地域研究に興味がある」
「文学のすごさを学びたい」「上代文学の研究に励む」：口々に夢を語った。

入学式 夢も“満開”



国学院大学のマスコット・
こくびよんも新入生を熱烈歓迎

